

令和5年度

教育に関する事務の点検・評価報告書

(令和4年度事業対象)



さくら市教育委員会

# 目 次

はじめに	・・・・・・・・ 3
第1章 教育委員会の点検・評価制度の概要	
1 点検・評価制度導入の経緯	・・・・・・・・ 4
2 点検・評価の趣旨	・・・・・・・・ 4
3 本市の教育委員会評価	・・・・・・・・ 4
4 評価のしくみ	・・・・・・・・ 5
5 評価対象・実施期間	・・・・・・・・ 5
6 評価の方法	・・・・・・・・ 5
7 外部評価委員	・・・・・・・・ 6
第2章 本市の教育目標	
1 基本理念	・・・・・・・・ 7
2 教育目標	・・・・・・・・ 7
3 基本目標	・・・・・・・・ 7
4 具体的な施策	・・・・・・・・ 8
第3章 教育委員会活動	
1 教育委員会の委員	・・・・・・・・ 9
2 教育委員会の会議	・・・・・・・・ 9
3 その他の活動	・・・・・・・・ 14
第4章 教育委員会施策	
1 基本施策1「健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進の評価」	・ 1 7
2 基本施策2「芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承」	・・・・ 2 2
3 基本施策3「確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育」	・・・・ 2 5
4 基本施策4「充実した生涯スポーツ社会の実現」	・・・・ 3 2
第5章 総合評価	
1 評価	・・・・・・・・ 3 5
2 課題と今後の方向性	・・・・・・・・ 3 5
第6章 評価委員による所見	
1 教育委員会外部評価委員会議	・・・・・・・・ 3 6
2 評価委員による所見	・・・・・・・・ 3 6

## はじめに

教育委員会制度は、首長からの独立、合議制、レイマンコントロールにより、教育の政治的中立性、継続性・安定性の確保や、地域住民の意向の反映を図るため、これまで様々な改正を重ねながら運用され、地方教育行政の基本的な制度として重要な役割を果たしてきました。

このような中、平成20年4月の法改正により、教育委員会の責任体制を明確にし、効果的な教育行政に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的に、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことが義務付けられ、本市においても、平成19年度から独自の点検・評価制度を構築・実施しているところであります。

また、昨今のいじめ問題を契機とした、教育委員会の責任所在の不明確さ、危機管理能力の不足などの課題が指摘されたことから、国において教育委員会の存続を含めた議論がなされた結果、平成27年4月の法改正により教育委員会制度改革が行われ、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化など、教育委員会がその職責を果たすことがますます求められております。

本市教育委員会においても、教育委員会制度改革に伴い、平成29年5月より教育長を代表とする新体制に移行し、総合教育会議などを通じて、市長と教育委員会とのより一層の連携強化を図っているところであります。

また、教育委員会会議において、教育行政にかかる基本方針や計画策定などの重要事項について審議するとともに、教育施設等への視察や教育関係者との懇談会などにより現場の状況を把握し、事務局との意見交換により教育施策への理解を深めながら、教育現場の意向や実態をより反映させた会議の運営に努めております。

本報告書では、令和4年度の教育委員会の活動状況や教育委員会が実施した施策全般について、外部評価委員のご意見等をいただきながら、点検・評価を行った結果をとりまとめました。この結果を今後の更なる効果的な教育行政の推進に活かしてまいります。

令和5年12月

さくら市教育委員会

# 第1章 教育委員会の点検・評価制度の概要

## 1 点検・評価制度導入の経緯

平成18年12月に教育基本法が改正され、さらに平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）が一部改正された。この改正を受けて、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表することが新たに規定され実施している。

### \* 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正

この法律は、日本の都道府県・市（特別区を含む）町村における教育行政を規定している法律で、一部改正により、教育委員会は学識経験者の知見を活用し、活動状況の点検・評価を行うことが規定された。

## 2 点検・評価の趣旨

本市教育委員会は、地教行法第26条に基づき、合議制の教育委員会が決定した教育全体構想に叶った事務を、教育長及び事務局が適切に執行しているかどうかについて、教育委員会事務局自らが「事務事業評価」によりチェックし、改善策を講じる努力を進めているところではあるが、外部の学識経験者による異なる視点からの意見を聴取し、地域住民に対する説明責任を果たすべく、平成19年度から当該点検・評価を実施している。

今後とも検討を加えながら、その趣旨あるいは位置付けに留意した適切な運用を図っていく。

### \* 事務事業評価

市が行う仕事の最も基礎的な単位が「事務事業」である。

平成19年度から、市のすべての事務事業について、目的妥当性・有効性・効率性の視点から評価し、業務改善を行っている。

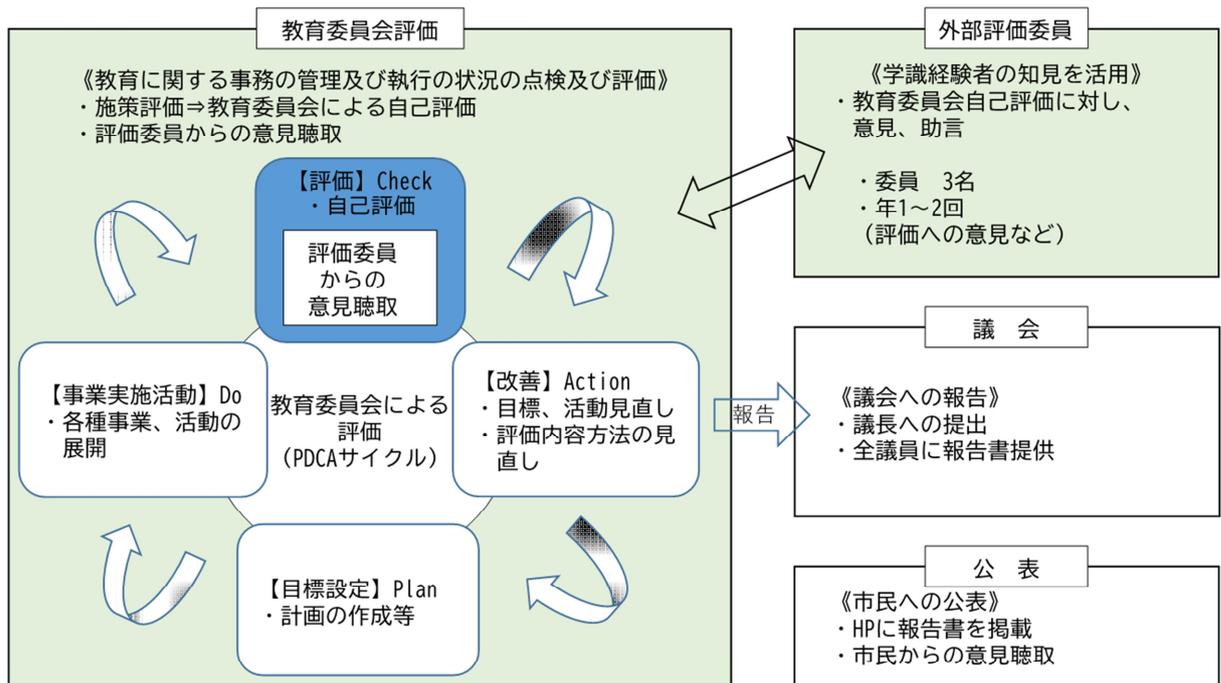
この評価は自ら行うものであり、点検・評価は外部の学識経験者が行う点で、事務事業評価とは異なる。

## 3 本市の教育委員会評価

本市の評価においては、まず、「第1章 教育委員会の点検・評価制度の概要」において、教育委員会評価に関するしくみや評価方法について記載し、『第2章 本市の教育目標』において、本市が掲げる教育目標を達成するための重点施策を記載する。

次に、本市の教育長と教育委員で構成される《教育委員会》の事務及び活動については『第3章 教育委員会活動』で、また《教育委員会事務局》が実施する施策事業については『第4章 教育委員会施策』により評価を実施する。最後に、『第5章 総合評価』により令和4年度の総合的な評価を実施し、『第6章 外部評価委員による所見』により自己評価に対する外部評価を実施する。

## 4 評価のしくみ



## 5 評価対象・実施期間

### (1) 対象

令和4年度実施の教育行政全般とする。

◇教育委員会活動

◇教育委員会施策

### (2) 実施期間

令和5年4月～12月

## 6 評価の方法

### (1) 自己評価

- ・各主管課及び教育委員会による自己評価の実施
- ・総合的な評価の実施
- ・次年度への課題、今後の方向性の明示

### (2) 自己評価に対する評価委員からの意見の聴取

- ・教育委員会外部評価委員会議における意見の聴取
- ・評価表による意見の聴取

## 7 外部評価委員

氏 名	選出分野	経 歴 ・ 所 属
小 林 邦 夫	学校教育分野 生涯スポーツ分野	さくら市スポーツ協会副会長 さくら市スポーツ推進審議会委員 元栃木県立高校校長
長 嶋 孝 子	生涯スポーツ分野 社会教育分野	オピニオンリーダー 栄養士 元さくら市スポーツ推進委員
高 野 美 智 子	社会教育分野 学校教育分野	さくら市博物館協議会委員 地域と学校を結ぶコーディネーター

## 第2章 本市の教育目標

### 1 基本理念

#### 気力・体力・学力No.1

凡事徹底の精神で教育の進化を目指します。

目標を達成するために最も大切なことは小さな努力をこつこつと重ねること。当たり前のことを当たり前にするのではなく、当たり前のことを人には真似できないほど一生懸命にやるのが大切です。

### 2 教育目標

心身共に健康で、生涯にわたり自己実現し、  
社会に貢献できる人づくり

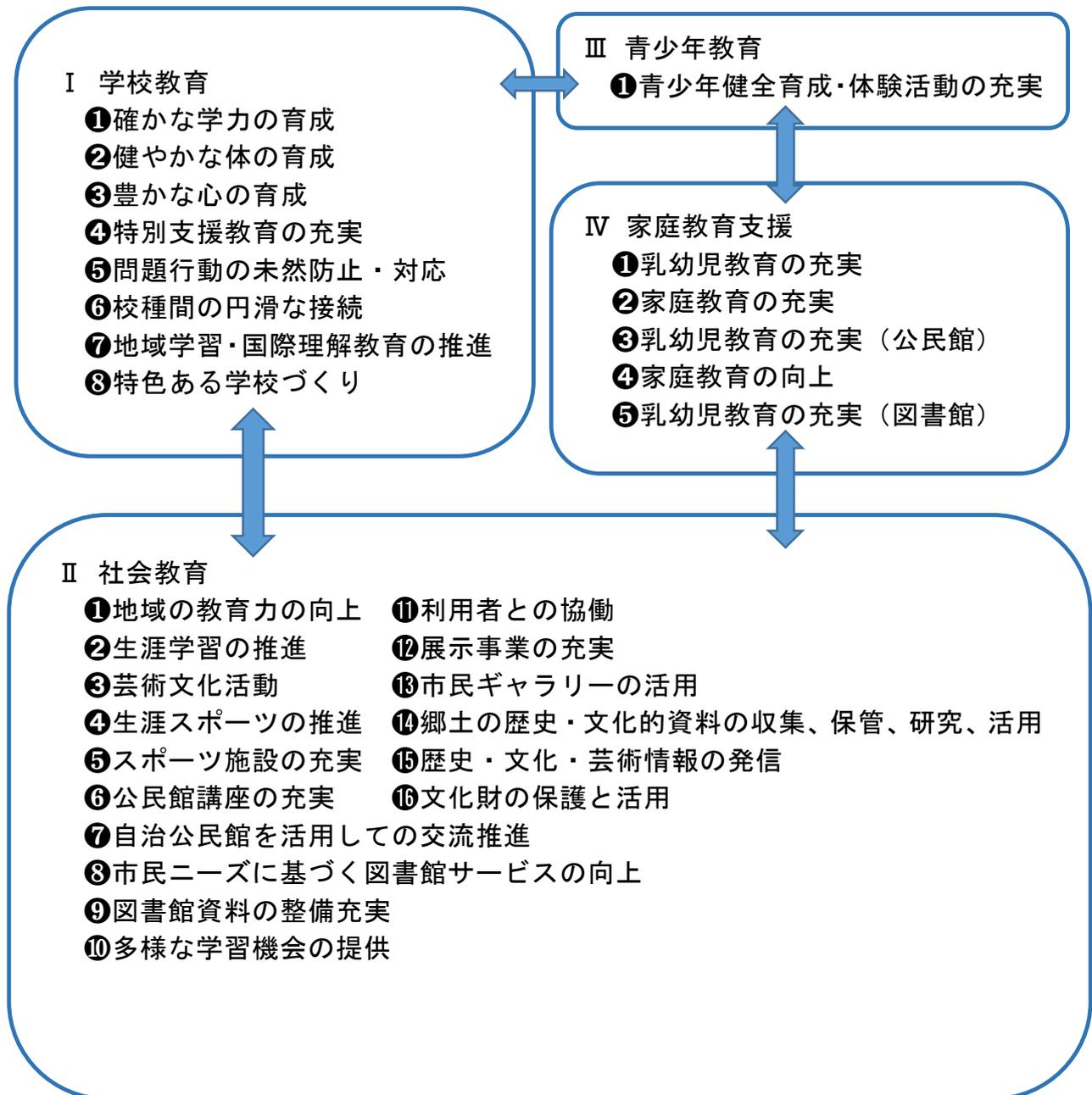
### 3 基本目標

教育目標の実現を図るために、4つのステージにおいて基本目標を掲げ、実現に取り組んでいます。

分野	基本目標
I 学校教育	一人一人に生きる力の育成を目指す学校教育の充実
II 社会教育	人と人をつなぐ家庭・地域づくりを目指す社会教育の充実
III 青少年教育	さまざまな体験・交流をとおして、自分のよさをを見つけられる青少年教育の充実
IV 家庭教育支援	自立できる子どもの育成を目指す家庭教育支援の充実

## 4 具体的な施策

4つのステージにおける基本目標の達成に向けて、それぞれのステージとの相互連携を図りながら、総合的かつ横断的に具体的施策を展開してまいります。



## 第3章 教育委員会活動

### 1 教育委員会の委員

平成27年4月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行され、新しい教育委員会制度が始まりました。この制度により大綱の策定や首長部局との総合教育会議の開催を通じて、地方公共団体の長と教育委員会が十分に意思疎通を図り、より一層の民意を反映した教育行政の推進が求められるようになりました。

さくら市の教育委員は5名で構成されています。4名の委員は市議会の同意を得て市長が任命し、任期は4年です。教育行政の重要事項の審議及び意思決定を担います。

教育長においても、市議会の同意を得て市長が任命し、任期は3年です。教育委員会の会務を総括し、権限に属する具体の事務を執行します。

(令和5年3月31日現在)

職名	氏名	任期
教育長	橋本 啓二	令和2年7月1日～令和5年6月30日
教育長職務代理者	森島 仁	令和3年5月24日～令和7年5月23日
委員	稲澤 幸枝	令和元年6月26日～令和5年6月25日
委員	中村 浩之	令和2年5月24日～令和6年5月23日
委員	岡崎 真紀	令和4年5月24日～令和8年5月23日

### 2 教育委員会の会議

原則的には8月を除き月1回の頻度で定例会を、緊急的な事案が発生した場合は臨時会を開催しました。

定例・臨時		議案件数	報告件数	その他
定例会	11回	22件	48件	0件
臨時会	1回	1件	0件	0件

## 令和4年度教育委員会付議案検討一覧

### ◇令和4年4月教育委員会【定例会】（令和4年4月22日）

種別	議案番号	件名
報告	報告第1号	6月補正要求理由書
	報告第2号	さくら市学校運営協議会委員名簿
	報告第3号	さくら市社会教育委員及び公民館運営審議会委員等名簿
	報告第4号	さくら市青少年センター運営協議会委員名簿
	報告第5号	さくら市図書館協議会委員名簿
	報告第6号	さくら市生涯学習推進協議会委員名簿
	報告第7号	さくら市青少年センター少年育成サポーター名簿
	報告第8号	学芸嘱託員の任命について
	報告第9号	博物館協議会委員委嘱について
	報告第10号	第77回春の院展栃木展特別料金の設定について
	報告第11号	令和4年度さくら市喜連川B&G海洋センター開場について
	報告第12号	要保護・準要保護、児童・生徒の新規及び継続認定について
	報告第13号	要保護・準要保護、児童・生徒の新規及び継続認定について
	報告第14号	区域外就学の承認について

### ◇令和4年5月教育委員会【定例会】（令和4年5月18日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第1号	熟田小学校長寿命化改良工事請負契約について
報告	報告第1号	後援名義使用承認許可について
	報告第2号	令和4年度さくら市教育支援委員会委員名簿について
	報告第3号	インターネットバンキング利用料補助金交付要綱について
	報告第4号	成年年齢引下げ後の成人式の名称について
	報告第5号	要保護・準要保護、児童・生徒の新規及び継続認定について
報告第6号	区域外就学の承認について	

### ◇令和4年6月教育委員会【定例会】（令和4年6月22日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第1号	後援名義使用承認許可について
報告	報告第1号	後援名義使用承認許可について
	報告第2号	要保護・準要保護、児童・生徒の新規及び継続認定について

### ◇令和4年7月教育委員会【定例会】（令和4年7月21日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第1号	令和5年度使用教科書用図書採択について
	議案第2号	さくら市スポーツアンバサダー設置要綱の制定について
報告	報告第1号	9月補正予算について
	報告第2号	後援名義使用承認許可について
	報告第3号	区域外就学の承認について

◇令和4年9月教育委員会【定例会】（令和4年9月28日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第 1号	教育委員会事務決裁規程の一部改正
	議案第 2号	後援名義使用承認許可について
報告	報告第 1号	後援名義使用承認許可について
	報告第 2号	要保護・準要保護、児童・生徒の新規及び継続認定について
	報告第 3号	区域外就学の承認について

◇令和4年10月教育委員会【定例会】（令和4年10月24日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第 1号	さくら市博物館条例の一部改正について
報告	報告第 1号	12月補正予算要求について
	報告第 2号	区域外就学の承認について

◇令和4年11月教育委員会【定例会】（令和4年11月25日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第 1号	令和3年度12月補正予算について
	議案第 2号	さくら市教育委員会後援名義使用承認許可について
報告	報告第 1号	さくら市教育委員会後援名義使用承認許可について
	報告第 2号	要保護・準要保護、児童・生徒の新規及び継続認定について
	報告第 3号	区域外就学の承認について

◇令和4年12月教育委員会【定例会】（令和4年12月21日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第 1号	教育委員会ハラスメントの防止に関する規程の制定について
	議案第 2号	教育委員会決裁規程の一部改正について
	議案第 3号	教育委員会事務局組織規則の一部改正について
	議案第 4号	さくら市体育施設条例施行規則の一部改正について
	議案第 5号	さくら市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則の一部改正について
報告	報告第 1号	12月補正(追加)予算要求について
	報告第 2号	後援名義使用承認許可について
	報告第 3号	さくら市スポーツ推進審議会への諮問について
	報告第 4号	要保護・準要保護、児童・生徒の新規及び継続認定について
	報告第 5号	区域外就学の承認について

◇令和5年1月教育委員会【定例会】（令和5年1月27日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第 1号	後援名義使用承認許可について

報告	報告第 1号	3月補正予算要求について
	報告第 2号	要保護・準要保護、児童・生徒の新規及び継続認定について
	報告第 3号	区域外就学の承認について

◇令和5年2月教育委員会【定例会】（令和5年2月22日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第 1号	令和5年度当初予算について
	議案第 2号	さくら市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱について
報告	報告第 1号	後援名義使用承認許可について
	報告第 2号	要保護・準要保護、児童・生徒の新規及び継続認定について
	報告第 3号	区域外就学の承認について

◇令和5年3月教育委員会【臨時会】（令和5年3月3日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第 1号	令和5年度小・中学校職員定期異動について

◇令和5年3月教育委員会【定例会】（令和5年3月24日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第 1号	教育委員会個人情報保護条例施行規則の一部改正について
	議案第 2号	教育委員会防犯カメラ等の管理及び運用に関する要綱の一部改正について
	議案第 3号	後援名義使用承認許可について
	議案第 4号	図書館規則改正について
報告	報告第 1号	熟田小学校長寿命化改良工事変更契約について
	報告第 2号	後援名義使用承認許可について
	報告第 3号	要保護・準要保護、児童・生徒の新規及び継続認定について
	報告第 4号	区域外就学の承認について

## ○総合教育会議

第1回会議 6月22日(水) 午前9時30分～市役所本庁舎3階 委員会室

出席者：市長、教育長、教育長職務代理者、教育委員3名

事務局 総合政策部長、総合政策課長、総合政策課秘書広報戦略室長  
教育次長、学校教育課長、生涯学習課長、ミュージアム館長  
スポーツ振興課長、学校教育課長補佐

議題	1	令和4年度さくら市教育全体構想について
	2	新給食センターの整備について
	3	長期化するコロナ禍における学校教育の現状

第2回会議 11月25日(金) 午後3時00分～市役所本庁舎3階委員会室

出席者：市長、副市長、教育長、教育長職務代理者、教育委員3名

事務局 総合政策部長、参事、総合政策課長、総合政策課秘書広報戦略室長、秘書係長  
教育次長、学校教育課長、生涯学習課長、ミュージアム館長  
スポーツ振興課長、学校教育課長補佐

議題	1	家庭教育支援の充実について
	2	今後の地域交流スポーツイベント(市民体育祭等)の在り方について

○後援名義使用許可件数

申請件数 15件 許可件数 13件

No	付議会議	申請者名	事業名	結果
1	5月定例会	第18回栃木県人権研究集会実行委員会	第18回栃木県人権研究集会	承認
2	6月定例会	さくら市氏家観光協会	第3回桜の手紙コンテスト	承認
3	6月定例会	さくら市バスケットボール協会	さくら市バスケットボール協会会長杯ミニバスケットボール大会	承認
4	6月定例会	宮城復興支援センター	国際交流&イングリッシュキャンプ	不承認
5	7月定例会	栃木県小学校教育研究会塩谷南那須支部人権教育部会	令和4年度栃木県小学校教育研究会人権教育研究大会塩谷南那須大会	承認
6	9月定例会	日本オービス(株)	2023さくら市親子ふれあい絆マラソン	承認
7	9月定例会	さくら市バスケットボール協会	さくら市バスケットボール協会会長杯中学校バスケットボール大会	承認
8	9月定例会	特定非営利活動法人人権センターとちぎ	第24回栃木県ヒューマンライツセミナー	承認
9	9月定例会	おはなしボランティアアリスの会	アリスの会28周年記念講演	承認
10	12月定例会	社会福祉法人さくら市社会福祉協議会	第12回福祉講演会	承認
11	1月定例会	こはる記念ウィンドオーケストラ	こはる記念ウィンドオーケストラ第5回チャリティーコンサート	承認
12	2月定例会	氏家少年少女合唱団	第36回氏家少年少女合唱団定期演奏会	承認
13	3月定例会	栃木県ハーモニカ協会	第10回栃木県ハーモニカ交流コンサート	承認
14	3月定例会	さくら市氏家観光協会	第4回桜の手紙コンテスト	承認
15	3月定例会	鈴木 庸平	ライオンズベースボールスクールさくら校無料体験イベント	不承認

### 3 その他の活動

#### (1) 各種行事への出席や学校訪問等

各種スポーツ大会や、二十歳のつどい、入学式、卒業式、教職員辞令交付式などの各種式典に出席をしました。

#### (2) 委員研修等

日々教育を取り巻く環境が変化する中、教育上の諸課題に対する委員の共通認識を図りながら、委員の資質を高めるため研修等を実施しました。

事業名	期日	場所	内容
総合公園壁打ち施設現地視察	4月22日	総合公園	総合公園内に完成した壁打ち施設の視察
令和4年度 塩谷南那須地区 教育委員会連合会 研修会	9月16日	栃木県庁 塩谷庁舎	演題：「人生と教育」 講師：白鷗大学教育学部長 教授 金井 正 氏
栃木県市町村 教育委員会連合会 研修会	11月7日	栃木県庁 研修館「講堂」	演題：「性の多様性について」 講師：宇都宮大学共同教育学部 准教授 長 香織 氏
熟田小学校長寿命 化改良工事現地視 察	12月21日	熟田小学校	熟田小学校で実施した長寿命 化改良工事の視察

## 第4章 教育委員会施策

本市で実施している行政評価を活用しながら、第2次総合計画（後期基本計画）に掲げた4つの基本施策を構成する18の基本事業ごとの評価を実施する。

### 基本施策1 健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進

- 基本事業（1）学ぶ機会の充実
- 基本事業（2）青少年の健全育成
- 基本事業（3）家庭教育支援の充実
- 基本事業（4）読書活動の推進
- 基本事業（5）課外「さくらスクール」による学びの推進

### 基本施策2 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承

- 基本事業（1）芸術文化活動の推進
- 基本事業（2）歴史的文化的資源の保存・継承・利活用
- 基本事業（3）ミュージアムの充実

### 基本施策3 確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育

- 基本事業（1）確かな学力の育成
- 基本事業（2）ICT教育の実践
- 基本事業（3）豊かな心の育成
- 基本事業（4）健やかな体の育成
- 基本事業（5）特別支援教育の充実
- 基本事業（6）安全・安心な教育環境の実現
- 基本事業（7）英語教育の充実

### 基本施策4 充実した生涯スポーツ社会の実現

- 基本事業（1）生涯スポーツ活動の充実
- 基本事業（2）スポーツ施設の整備
- 基本事業（3）スポーツ団体・指導者の育成

#### <施策指標の評価及び総合評価>

区分	A	B	C
①施策指標の達成度	100%以上	70～100%未満	70%未満
②主要な構成事業の進捗状況	達成・概ね達成した	多少は達成した	達成できず

総合評価	順調	概ね順調	やや遅れ
	A評価が50%以上	A・B評価が50%以上	左記以外

## 基本施策 1 健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進

### 施策の目指す姿

生涯にわたる学びの機会とその成果を活かす場があり、豊かな心を持ち、生きがいに満ちた市民が増加しています。

指標名	現状値	目標値	実績値
自主的な生涯学習活動に参加している市民の割合	24.3% (R2年度)	32.0% (R7年度)	25.1% (R4年度)

### 基本事業（1）学ぶ機会の充実

施策目標	市民の生涯学習の機会が充実しています。				
	指標名	現状値	目標値	実績値	評価
	生涯学習講座・イベントの参加者数	21,926人 (R1年度)	22,600人 (R7年度)	12,763人 (R4年度)	C
関連する事務事業名	でまえ学び塾開催事業				
事業概要	市民や市職員等の講師を集会所等に派遣する。講師料は無料、材料費等は自己負担となる。				
	指標名	R3実績	R4実績	達成度	評価
	利用者数	1,919人	2,760人	多少は達成した	B
達成度の評価と説明	新型コロナウイルス感染拡大の影響により感染拡大前と比較すると利用者は大幅に減少したが、利用者においては希望する講座を受講することで充実した学びを得ることができた。また、講師を務める市民にとっては、自分の学んだ成果を活用する場になっており、生涯学習の振興が図られた。				
具体的な改善策	新規講師の登録を進めることによって、市民のニーズに対応する選択肢を広げるための環境を整備する。				
関連する事務事業名	生涯学習講座・大会開催事業				
事業概要	“まちづくりリーダー”の育成を目的とし、連続講座を開催する。生涯学習振興大会を開催し、市民が生涯学習にふれる機会を提供する。				
	指標名	R3実績	R4実績	達成度	評価
	市民大学延べ参加者数	63人	109人	多少は達成した	B
	生涯学習振興大会来場者数	0人	353人		
達成度の評価と説明	市民大学は、外国人にも住みやすい街づくりを目指す講座（全6回）及び、男性の家事参画を推進する料理教室（全4回）を開催した。生涯学習振興大会は、前年度中止となった講演会のほか、市民の繋がりづくりを目的とした座談会を実施した。				
具体的な改善策	特になし				
総合評価	概ね順調（A・B評価が50%以上）				

## 基本事業（２）青少年の健全育成

施策目標	様々な体験活動、研修等を通して、青少年が健やかに成長しています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
青少年育成事業における体験活動への児童・生徒の延べ参加者数	411人 (R1年度)	600人 (R7年度)	292人 (R4年度)	C
関連する事務事業名	青少年センター事業			
事業概要	課内に青少年センターを設置し、青少年健全育成事業を行う。運営協議会委員、少年育成サポーター、少年指導員に報酬等を支給する。			
指標名	R3実績	R4実績	達成度	評価
青少年センター事業に参加した人数	630人	876人	多少は達成した	B
少年育成サポーター数	27人	22人		
達成度の評価と説明	コロナ禍においても少年指導員が体験活動班、ICT研究班、広報啓発班、研修班を編成し、体験活動や研修会の開催、広報紙「夢咲楽～和輪話通信～」の発行、全体活動としてあいさつ巡回活動（小・中・高等学校）を行い、青少年健全育成の推進が図られた。			
具体的な改善策	特になし			
関連する事務事業名	子ども会連合会育成補助事業			
事業概要	子ども会活動や研修等に対し補助金による支援を行う。			
指標名	R3実績	R4実績	達成度	評価
活動日数	19日	19日	多少は達成した	B
会員数	2,918人	2,708人		
達成度の評価と説明	さくら市子ども会連合会において、新型コロナウイルス感染拡大の影響により一部事業の中止や規模を縮小することとなったが、感染予防対策等を行い可能な範囲で事業を実施したことにより子ども会活動の充実が図られた。補助金交付により、同団体の育成及び青少年の健全育成が図られた。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	概ね順調（A・B評価が50%以上）			

### 基本事業（3）家庭教育支援の充実

施策目標	子ども達を育む家庭の教育力が向上しています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
家庭教育支援に関する講座や学級、研修会等の延べ参加者数	1,735人 (R1年度)	2,000人 (R7年度)	2,095人 (R4年度)	A
関連する事務事業名	社会教育・家庭教育支援事業			
事業概要	家庭教育を支援するために、家庭教育オピニオンリーダーや家庭教育学級生のボランティアを中心に「家庭教育支援チーム」を組織し、家庭教育の重要性を啓発する。			
指標名	R3 実績	R4 実績	達成度	評価
家庭教育講座・講習の実施回数	11回	15回	多少は達成した	B
家庭教育講座の参加者数	801人	1,224人		
達成度の評価と説明	親子応援講座を市内6小学校で、親子学び合い事業（ネット社会の歩き方講習会）を市内7校で、就学前の学習・生活体験を2回実施するなど、計15回の講座や研修を開催した。また、家庭教育の普及啓発を図るために家庭教育関連冊子の発行等を行った。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

## 基本事業（４）読書活動の推進

施策目標	本に触れる機会・読書を通じて学ぶ機会が充実しています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
図書館の利用者数	165,827人 (R1年度)	167,000人 (R7年度)	124,684人 (R4年度)	B
関連する事務事業名	図書館管理事業			
事業概要	平成27年度から指定管理者制度に移行した。施設管理ほか、資料収集、相互貸借、レファレンス業務、おはなし会や各種講座開催等の事業を市と協議の上、実施する。			
指標名	R3実績	R4実績	達成度	評価
年間貸出点数（図書、雑誌、AV資料）	268,753点	291,374点	多少は達成した	B
年間講座参加者数	1,385人	3,026人		
達成度の評価と説明	講座参加者数について、新型コロナウイルス感染予防対策を講じることや感染リスクの低い内容により実施したことで、令和3年度と比較し大幅に増加した。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	概ね順調（A・B評価が50%以上）			

### 基本事業（５）課外「さくらスクール」による学びの推進

施策目標	課外での学びの場で、児童・生徒の確かな学力・豊かな心・健やかな身体が育まれています。				
	指標名	現状値	目標値	実績値	評価
	課外「さくらスクール」の延べ参加者数	5,289人 (R1年度)	7,000人 (R7年度)	7,082人 (R4年度)	A
関連する事務事業名	課外「さくらスクール」事業				
事業概要	課外「さくらスクール」～さくら未来塾～を開設し、学力アップコース（小・中学生）と体験コース（小学生）により子ども達に多くの学びの機会を提供する。				
	指標名	R3 実績	R4 実績	達成度	評価
	申込児童・生徒数	622人	551人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	学力コースにおいては地域の学習サポーターの支援により、参加児童の学力アップや学習意欲の向上を図ることができた。また、体験コースにおいては、児童が様々な体験を行う中で多くの学びの機会を得ることができた。				
具体的な改善策	特になし				
総合評価	順調（A評価が50%以上）				

## 基本施策 2 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承

### 施策の目指す姿

市民が、地域の芸術・文化・歴史に触れることにより、さくら市での暮らしを楽しんでいます。

指標名	現状地	目標値	実績値
芸術・文化・歴史に関する事業に参加している市民の割合	44.7% (R2 年度)	45.0% (R7 年度)	37.7% (R4 年度)

### 基本事業（1）芸術文化活動の推進

施策目標	多くの市民が芸術文化に関する活動を行っています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
文化振興事業の参加者数	5,289 人 (R1 年度)	7,000 人 (R7 年度)	5,314 人 (R4 年度)	B
関連する事務事業名	定期文化事業			
事業概要	定期的に文化芸術の良さ素晴らしさが市民に伝わるような文化振興事業を実施。幅広く質の高い出演者を選定し、市民への参加選択肢を広げる。			
指標名	R3 実績	R4 実績	達成度	評価
定期文化事業参加者数	2,252 人	3,080 人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	コロナ対策を十分に講じながら計画通りの事業を実施し、目標 2,325 人に対し 3,080 人と目標を達成することができた。			
具体的な改善策	民間委託により事業を実施することで業務負担が減少するものの事業費が増加することから、歳入の確保、あるいは低予算で効果的な催物の実施方法について検討する。			
関連する事務事業名	児童生徒対象文化芸術振興事業			
事業概要	各校に内容や日程の調整を実施して、候補となる芸術家に交渉、実施の運びとなる。小学校は 45 分間、中学校 50 分程度の芸術鑑賞機会の提供を行う。			
指標名	R3 実績	R4 実績	達成度	評価
音楽鑑賞教室に参加した児童・生徒の数	2,085 人	2,234 人	多少は達成した	B
達成度の評価と説明	文化庁の文化芸術による子供の育成事業（芸術家の派遣事業）の採択を得て、市内小中学校の児童生徒に音楽の鑑賞機会を提供することができた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学年を限定するなどして実施した。			
具体的な改善策	多様な芸術文化の鑑賞機会が提供できるよう予算の確保や実施方法について検討する。			
総合評価	概ね順調（A・B 評価が 50%以上）			

## 基本事業（２）歴史的文化的資源の保存・継承・利活用

施策目標	歴史的文化的財が適正に保存・継承・利活用され、興味・関心を持つ市民が増加しています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
市内の文化財に親しんだ市民の割合	15.8% (R2年度)	20.0% (R7年度)	16.4% (R4年度)	B
市民が認知する市内の主要な文化財等の数（全10件）	3.7件 (R2年度)	4.5件 (R7年度)	4.2 (R4年度)	B
関連する事務事業名	さくら市歴史資料保存・活用事業			
事業概要	氏家町史・喜連川町史編さん事業で収集した歴史資料を整理保存する。市内の歴史資料調査を継続して実施し、収集を行う。			
指標名	R3実績	R4実績	達成度	評価
保存された延べ歴史資料数	9,912点	10,297点	達成、概ね達成した	A
今年度収蔵の歴史資料	337点	385点		
達成度の評価と説明	令和4度は歴史的行政文書385点を収蔵した。			
具体的な改善策	調査依頼も多いことから、調査研究の可能な人員の育成にも力を入れる。行政文書の電子保存化により分別作業量を減少することができる。			
関連する事務事業名	瀧澤家住宅保存事業			
事業概要	県指定文化財瀧澤家住宅を保護や維持管理をしながら平成27年度に策定した利活用計画や平成29年度策定予定の整備計画に従い、修理や整備、利活用を行う。			
指標名	R3実績	R4実績	達成度	評価
利用者数	3,480人	7,622人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	感染症対策に気を配りながら事業を実施し、来館者を増加することができた。（企画展を10回実施）			
具体的な改善策	文化財修繕以外にまちづくり等を含んだ各種補助金の獲得。			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

### 基本事業（3）ミュージアムの充実

施策目標	さくら市ミュージアム—荒井寛方記念館—の展示内容・収蔵資料が充実し、多くの市民に親しまれています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
ミュージアムの来館者数	22,706人 (R1年度)	25,000人 (R7年度)	16,775人 (R4年度)	B
ミュージアムの収蔵資料数	34,624点 (R1年度)	34,734点 (R7年度)	29,119人 (R4年度)	B
ミュージアムの企画展観覧者の満足度	96.0% (H30年度)	96.0% (R7年度)	96.1% (R4年度)	A
関連する事務事業名	特別・企画展等開催事業			
事業概要	テーマを持たせた資料観覧の機会を提供する。 ①企画展の開催 ②ギャラリー・トーク ③作品解説会・講演会			
指標名	R3実績	R4実績	達成度	評価
特別・企画展入館者数	20,092人	17,495人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	デジタルミュージアム収蔵品検索整備及び施設整備（前庭工事）のため臨時休館（5月16日～9月16日）を行ったが、計画していた展覧会の開催を実現することができた。休館中は瀧澤家住宅において博物館に関連した展示を行い市内小中学生の観覧を誘致するなど来館促進につなげた。			
具体的な改善策	企業協賛や、共催運営を検討するとともに、展覧会の回数、内容等を見直す。			
関連する事務事業名	博物館作品購入等事業			
事業概要	郷土の歴史や美術に関わりの深い資料や作品を未来に残すために購入する。併せて収蔵資料を拡充しながらこれらを企画展等により一般に公開する。			
指標名	R3実績	R4実績	達成度	評価
購入並びに寄託、寄贈資料・作品収蔵数	34,663点	29,119点	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	博物館活動に必要な、資料・作品の収蔵が行われた。令和4年度に資料の整理を行い、資料数の数え方の見直しを行った。			
具体的な改善策	学芸員の調査研究、現地調査の機会を増やしていく。			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

### 基本施策3 確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育

#### 施策の目指す姿

児童・生徒が学校で楽しく学びながら県内トップクラスの気力・体力・学力を身につけます。

指標名	現状値	目標値	実績値
学校に行くのが楽しいと思っている児童の割合	91.1% (H29年度)	92.0% (R4年度)	87.1% (R4年度)
学校に行くのが楽しいと思っている生徒の割合	85.3% (H29年度)	87.0% (R4年度)	81.3% (R4年度)

#### 基本事業（1）確かな学力の育成

指標名	現状値	目標値	実績値	評価
小学校6年生の国語の全国学力・学習状況調査における県平均正答率との差	5.0Pt (R1年度)	5.0Pt (R7年度)	2.0Pt (R4年度)	C
小学校6年生の算数の全国学力・学習状況調査における県平均正答率との差	3.0Pt (R1年度)	3.0Pt (R7年度)	2.0Pt (R4年度)	C
中学3年生の国語の全国学力・学習状況調査における県平均正答率との差	0.2Pt (R1年度)	1.0Pt (R7年度)	2.0Pt (R4年度)	A
中学3年生の数学の全国学力・学習状況調査における県平均正答率との差	-1.8Pt (R1年度)	0Pt (R7年度)	1.0Pt (R4年度)	A
<b>関連する事務事業名</b>	<b>小中学校総合学力調査事業</b>			
<b>事業概要</b>	全国学力学習状況調査の結果についてリーフレットを作成し、教科指導の計画に活かす。			
指標名	R3実績	R4実績	達成度	評価
調査結果を分析し授業改善等に生かしている学校の割合	100%	100%	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	国の学力学習状況調査結果のリーフレットを作成し、教育施策及び学校・学級・教科指導の計画に生かすことができた。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

## 基本事業（２）ICT教育の実践

施策目標	児童・生徒がICT教材を活用して効果的に学習しています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
ICTを活用して児童・生徒を指導する能力が備わっている教師の割合	82.5% (R1年度)	90.0% (R7年度)	89.5% (R4年度)	B
関連する事務事業名	学校ICT管理事業			
事業概要	学校において校務、学習等に使用するICT機器・ソフトウェアの管理を行う。国のGIGAスクール構想を推進する。			
指標名	R3実績	R4実績	達成度	評価
教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	1台	1台	達成、概ね達成した	A
普通教室の無線LAN整備率	100%	100%		
達成度の評価と説明	学習者用PCの修繕及び追加購入をおこない、一人一台の学習者用PC環境を適切に管理することができた。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

### 基本事業（3）豊かな心の育成

施策目標	児童・生徒の豊かな心が育成されています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
小学校でいじめが解消した割合	81.2% (R1年度)	100.0% (R7年度)	81.4% (R4年度)	B
中学校でいじめが解消した割合	100.0% (R1年度)	100.0% (R7年度)	50% (R4年度)	C
小学校の学校図書室の児童1人当たりの年間貸出冊数	41.6冊 (R1年度)	45.0冊 (R7年度)	54.3冊 (R4年度)	A
中学校の学校図書室の児童1人当たりの年間貸出冊数	10.7冊 (R1年度)	12.0冊 (R7年度)	8.9冊 (R4年度)	B
関連する事務事業名	スクールカウンセラー活用事業			
事業概要	市費で小中学校8校に4人のスクールカウンセラーを派遣するほか、臨床心理士、スクールソーシャルワーカーによる相談等を行う。			
指標名	R3実績	R4実績	達成度	評価
市費スクールカウンセラー派遣時間	952回	1,092回	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	特に配慮が必要な児童生徒が安定した学校生活を送れるようにすることができた。また、悩みがある保護者のカウンセリングを実施した。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	概ね順調（A・B評価が50%以上）			

#### 基本事業（４）健やかな体の育成

施策目標	児童・生徒の健やかな体が育成されています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
小学5年生の体力・運動能力調査の全国平均点との差	-0.1点 (R1年度)	4.0点 (R7年度)	-0.5点 (R4年度)	C
中学2年生の体力・運動能力調査の全国平均点との差	-1.2点 (R1年度)	0点 (R7年度)	-1.0点 (R4年度)	C
総合評価	やや遅れ			

## 基本事業（5）特別支援教育の充実

施策目標	障がいのある児童・生徒が障がいの程度にあわせたきめ細やかな教育を受けています。				
	指標名	現状値	目標値	実績値	評価
	特別支援教室担当非常勤講師1人当たりの特別支援教室在籍児童・生徒数	7.1人 (R2年度)	6.0人 (R7年度)	9.2人 (R4年度)	C
	総合評価	やや遅れ			

## 基本事業（6）安全・安心な教育環境の実現

施策目標	児童・生徒が安全・安心な教育環境で学んでいます。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
小中学校の校舎・施設の長寿命化改修件数	0件 (R2年度)	3件 (R7年度)	2件 (R4年度)	B
施設維持管理上の不備による教育支障件数	0件 (R1年度)	0件 (R7年度)	0件 (R4年度)	A
児童・生徒が登下校時に巻き込まれた事件・事故件数	4件 (R1年度)	0件 (R7年度)	19件 (R4年度)	C
関連する事務事業名	小学校施設補修整備事業			
事業概要	各小学校施設及び設備の補修や整備。現地調査・ヒアリングを行い、緊急度や重要度に応じて実施。			
指標名	R3実績	R4実績	達成度	評価
要望対応率	100%	100%	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	当初計画に加え、学校からの要望に対し、即時対応を実施することができた。			
具体的な改善策	特になし			
関連する事務事業名	中学校施設補修整備事業			
事業概要	各小学校施設及び設備の補修や整備。現地調査・ヒアリングを行い、緊急度や重要度に応じて実施。			
指標名	R3実績	R4実績	達成度	評価
要望対応率	100%	100%	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	当初計画に加え、学校からの要望に対し、即時対応を実施することができた。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

## 基本事業（7）英語教育の充実

施策目標	児童・生徒が充実した英語教育を受けています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
C E F R の A1 レベル相当又はそれ以上の英語力を有する中学 3 年生の割合	35.9% (R1 年度)	37.0% (R7 年度)	37.6% (R4 年度)	A
関連する事務事業名	外国語教育推進事業			
事業概要	小学校・中学校・公立保育園に英語指導助手・英語活動支援員を派遣する。			
指標名	R3 実績	R4 実績	達成度	評価
小学校における児童一人あたりの授業実施数	39 時間	39 時間	達成、概ね達成した	A
中学校における生徒一人あたりの授業実施数	70 時間	70 時間		
達成度の評価と説明	小学校・中学校に英語指導助手（A L T）、小学校に英語活動支援員を派遣し、授業を実施した。			
具体的な改善策	特になし			
関連する事務事業名	市立中学校国際交流事業			
事業概要	中学生徒から派遣団員を選考し、現地学校との交流やホームステイを行なう。令和 3 年度からはオンライン交流を進めている。			
指標名	R3 実績	R4 実績	達成度	評価
事業参加生徒数	0 人	13 人	多少は達成した	B
達成度の評価と説明	コロナ禍により海外派遣が実施できないため、代替としてイングリッシュキャンプを実施。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A 評価が 50%以上）			

## 基本施策 4 充実した生涯スポーツ社会の実現

### 施策の目指す姿

市民が定期的にスポーツや体を動かすレクリエーションを楽しんでいます。

指標名	現状値	目標値	実績値
週 1 回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合	33.2% (R2 年度)	34.0% (R7 年度)	28.8% (R4 年度)

### 基本事業（1）生涯スポーツ活動の充実

施策目標	各種スポーツ教室、大会等が開催され、多くの市民が参加しています。				
	指標名	現状値	目標値	実績値	評価
	各種スポーツ教室・大会の延べ参加者数	136 千人 (R2 年度)	145 千人 (R7 年度)	61 千人 (R4 年度)	C
関連する事務事業名	各種スポーツ大会、教室開催事業				
事業概要	市民のスポーツ活動の促進及び健康増進を図るため、ニュースポーツ教室、市民ハイキング等の事業を行う。				
	指標名	R3 実績	R4 実績	達成度	評価
	各大会等の参加者数	270 人	762 人	多少は達成した	B
達成度の評価と説明	新型コロナウイルス感染症に伴い規模縮小となった教室等もあったが、感染症対策を行った上で代替事業を行った。 市民が各教室に参加し、スポーツ活動の促進及び健康増進に繋がった。				
具体的な改善策	特になし				
関連する事務事業名	スポーツ大会出場補助事業				
事業概要	市を代表して、全国大会・関東大会等へ出場した選手に対して交通費等を一部補助する。				
	指標名	R3 実績	R4 実績	達成度	評価
	全国大会等へ出場費を補助した個人、団体数	26 人	52 人	多少は達成した	B
達成度の評価と説明	令和 4 年度も、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止となった各種大会（全国大会・関東大会等）があったものの、開催されたスポーツ大会に出場する個人・団体への支援を行うことにより、さくら市のスポーツ振興発展と競技力向上並びに競技人口の拡大を図ることにつながった。				
具体的な改善策	特になし				
総合評価	概ね順調（A・B評価が 50%以上）				

## 基本事業（２）スポーツ施設の整備

施策目標	市民が希望するスポーツ施設が整備され、多くの市民が利用しています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
市内の体育施設の年間延べ利用者数	292 千人 (R2 年度)	360 千人 (R7 年度)	225 千人 (R4 年度)	C
関連する事務事業名	氏家体育館管理事業			
事業概要	1 開館時間 9時～21時30分（日曜・祝日は17時） 2 休館日 年末年始			
指標名	R3 実績	R4 実績	達成度	評価
利用者数	29,970 人	46,423 人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	新型コロナウイルス感染症の影響がやや見受けられるが、前年度を上回った。			
具体的な改善策	特になし			
関連する事務事業名	さくらスタジアム管理事業			
事業概要	1. 利用時間 9時～21時（日曜・祝日は17時） 2. 休場日 年末年始 (平成27年10月1日設置)			
指標名	R3 実績	R4 実績	達成度	評価
利用者数	10,134 人	15,314 人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	新型コロナウイルス感染症の影響がやや見受けられるが、前年度を上回った。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

### 基本事業（3）スポーツ団体・指導者の育成

施策目標	指導者が充実し、スポーツ団体の活動が盛んにおこなわれています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
スポーツ団体、教室等の指導者数	412人 (R2年度)	430人 (R7年度)	261人 (R4年度)	C
関連する事務事業名	さくら市スポーツ協会補助事業			
事業概要	生涯スポーツの振興と市民の体力向上及び健全なスポーツ精神の育成を図るため、市スポーツ協会が実施する事業に対して補助を行う。			
指標名	R3実績	R4実績	達成度	評価
大会のべ参加者数	7,458人	9,684人	達成、概ね達成した	A
教室のべ参加者数	37,298人	44,299人		
達成度の評価と説明	スポーツ協会への補助を通して、各種大会、教室が開催され、市民スポーツの普及及び健康・体力の維持増進が図られたが、令和3年度も新型コロナウイルス感染症により、大会や教室の中止・規模縮小等があり、前年度と比べ大会参加者数は増加したものの、教室参加者数は減少した。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

## 第5章 総合評価

### 1 評価

#### 【教育委員会の活動】

・教育委員会活動については、小学校の長寿命化改良工事や、スポーツアンバサダーの設置についてなど、各課業務の現状や課題についての理解を深めるとともに、委員間での共通認識を図ることができた。これらの取組により、教育委員会会議において教育現場の実態や意向などを踏まえた、充実した議論を行うことができた。また、教育委員会主要事業の進行管理報告や、教育委員会会議における自由討議、各課事業の現状・課題等にかかる意見交換などを積極的にを行い、教育委員による教育長及び教育委員会事務局の事務執行にかかるチェック機能の強化を図ることができた。

・総合教育会議については、会議を通して、学校現場における情報化への取組状況や今後の方向性について市長との共通認識を図るとともに、校務の一層の効率化やシステム化に向けた環境整備や、子どもたちが主体的にICT機器を利活用できるよう、情報教育のさらなる充実に向けて、市長と教育委員会が連携し取り組んでいくことを確認することができた。

#### 【教育委員会施策】

・教育委員会施策については、第2次総合計画（後期基本計画）の体系のうち、教育委員会に関係する4つの基本施策とそれを構成する18の基本事業について、本市で実施している行政評価を活用しながら評価した結果、基本施策を構成する16の基本事業について、施策指標の達成度や市民意識調査結果の満足度などで評価される総合評価は「概ね順調」又は「順調」で、計画的に施策事業の推進が図られている。

### 2 課題と今後の方向性

#### 【教育委員会の活動】

・教育委員会活動については、教育委員会会議において教育現場の実態や意向などを踏まえた充実した議論を行っていく必要があることから、時事的な教育課題を捉えながら、教育施設視察や教育懇談会などの充実を図る。また、視察等の実施においては、可能な限り教育委員会会議と同日開催とするなど効果的・効率的な活動に取り組んでいく。

・総合教育会議については、第2次総合計画に掲げる「気力・体力・学力 No.1」の実現に向け、市長と教育委員会がより緊密に連携を図り、総合的・横断的な教育行政を推進することが重要であることから、会議を通して協議・調整を行い、より一層の教育行政の充実に努めていく。

#### 【教育委員会施策】

・教育委員会施策については、「気力・体力・学力 No.1」の実現に向けて、総合的・体系的に教育行政を行っていくことが必要であることから、ICTの効果的な活用や安心・安全で快適な環境の中で過ごせるように、学校施設の整備など学校教育の推進に取り組むとともに、家庭・地域の教育力の向上、文化振興、生涯スポーツの推進などを図っていくこととする。

## 第6章 評価委員による所見

### 1 教育委員会外部評価委員会議

【日程】令和5年12月21日（木）

【結果】

- ・事務局からの本年度の教育委員会評価の概要について説明したのち、「教育委員会活動」、「教育委員会施策」についてご意見を頂いた。
- ・各評価委員からの所見については下記のとおり。

### 2 評価委員による所見

#### ◇ 長嶋 孝子 委員

##### (1) 総合評価

教育に関する事務の点検・評価報告書を紙面で拝見させていただき、教育行政が緊密に連携を図り、課題に真摯に取り組んでいることを確認することができました。

紙面では不明な個所については、会議を通して確認、協議することで問題点を把握することができ、事務局が行った点検・評価に基づいて次年度以降に反映させるためにも正確な議事録となお一層丁寧な対応を希望します。

##### (2) 教育委員会の活動

教育長及び4名の教育委員（教育長職務代理者含む）で毎月定例会を開催（8月を除く）することで、時事的な課題についてタイムリーに議論を行えていることが確認できました。

また、教育委員会事務局が学校現場を細部にわたりしっかり把握し、問題解決に向けて的確に職務を遂行している様子をうかがうことができました。

##### (3) 教育委員会の施策

ライフステージ(乳幼児期→少年期→青年期→成人期→高齢期)それぞれ目標を掲げ、行政の横のつながりを緊密に図っていること、様々な分野で対応、努力している様子が伺えました。

なかでも「気力・体力・学力 No. 1」の実現に向けて、学校の現場だけでなく課外での学びの場「さくらスクール」を開設し、学力アップコース、体験コースで学びの機会を提供することで、実現につながることを思います。ぜひ継続することを望みます。

◇ 小林 邦夫 委員

(1) 総合評価

教育、特に学校教育はさくら市の未来への投資であると考えている。  
今の小中学生が成長して、さくら市で、栃木県で、日本で、いや世界で活躍し貢献できる人間づくりの為に、より多くの教育費が必要と考える。これが「さくら市教育目標」の社会に貢献できる人づくりの具現化には必要条件と考える

(2) 教育委員会の活動

教育委員会と学校、社会教育（施設）、スポーツ教育（施設）との距離を近くしての活動を期待している。教育委員会の活動が机上の理論にならないように。

(3) 教育委員会の施策

学校教育、青少年教育。家庭教育支援と多岐に渡って施策が講じられている。それぞれの教育は独立したものではなく、十分に連携して有機的なつながりの中で、より費用対効果の高い施策の実行が必要である。(1) とのかかわりも考えて。

◇ 高野 美智子 委員

(1) 総合評価

市長と教育委員会の連携が図られており、さくら市の教育目標に向けて取り組まれていると思います。

(2) 教育委員会の活動

先の会議（12月）においての質疑、点検浄化事項の回答内容のとおり実態を把握し生涯教育に努めてください。

(3) 教育委員会の施策

市教育全体構想に基づき、計画的に施策事業が実施されていると思います。